

ちばてつや氏からのメッセージ

～メディア芸術ナショナルセンター事業へ寄せて～



わたしは、自分が描いた原稿、原画をほとんど見たり読み返すことがありません。見るとどうしても直してしまいたくなるんです。もっと読みやすく、面白くできるのではないかと。でもだから、読み返さないからといって、描き溜めてきた作品たちに愛着がないわけではないんです。その1ページ1ページ、ひとコマひとコマに、制作当時の苦しみや人生が詰まっているのです。カラになった資料保管室に立てば、やっぱり寂しさが込み上げます。

でも、国が主体となってメディアのアーカイブに向き合ってくれる、というこの機会にこうして協力できるということは、それを上回る誇らしさもあるのです。どんな研究、調査が行われるにせよ、これからの日本文化の一助になってくれたら、こんなに嬉しいことはありません。

そしてこの事業が、ただ保存や保管にとどまることなく、日本のマンガ界にとって意義のある利活用がなされるまでに発展することを、切に願っています。

ちばてつや

<ちばてつや氏略歴>

1939年(昭和14年)東京都生まれ。1956年(昭和31年)貸本マンガでデビュー。以来、数多くの少年・少女マンガのヒット作を生み出し、とりわけスポーツマンガへの貢献で知られる。中でも1968年(昭和43年)に「週刊少年マガジン」で連載開始した『あしたのジョー』(原作・高森朝雄)で後進に多大なる影響を与える。代表作に『ちかいの魔球』、『紫電改のタカ』、『ハリスの旋風』、『あしたのジョー』、『おれは鉄兵』、『あした天気になあれ』、『のたり松太郎』など。日本漫画家協会会長、元文星芸術大学学長。2001年日本漫画家協会賞文部科学大臣賞、2002年紫綬褒章、2012年旭日小綬章、2014年文化功労者、2022年日本芸術院会員、2024年文化勲章。